



終わりに（平成19年2月定例会）

今任期中の本会議には、延べ278人の議員の方々が代表・一般質問にご登壇されました。

私も、歴史と伝統ある山口県議会に議席を与えていただき、この4年間で6回登壇させていただきましたが、改選後初の定例会となる平成15年6月議会に初登壇させていただいた時の言葉にならない緊張感と感激は、今でも心に強く残っております。

振り返ってみますと、この4年間は県政にとりましても、また私にとりましても、激動、変革の4年間であったのではないかと思います。

少子・高齢化の進行による人口減少時代への突入、市町村合併の進展、さらには、大規模な自然災害や事件・事故など県民の暮らしの安心・安全を脅かす問題の発生といった様々な課題に直面してまいりました。

こうした中で昨年11月に開催された国民文化祭は、子どもたちから高齢者まで全ての県民力・地域力が結集し、大成功を収め、今後の県づくりに大きな勢いをもたらしました。

また、昨年9月には、41年ぶりの親王殿下となられる悠仁殿下のご誕生に続き、安倍晋三先生が山口県8人目の総理大臣に就任されるという、県民にとっても我が党にとっても大変喜ばしい出来事もありました。

このような中で、私も、亡き夫の遺志を継ぎ、少しでも人様のお役に立ちたいとの大きな決意をし、新人議員として責任ある県政与党の一員に加えさせていただき、この4年間、微力ながら県政のためにと努力をしてまいりました。

この間、先輩議員の皆様方、同僚議員、そして県民の皆様方から多くのご指導・ご鞭撻を賜り、議員として様々な体験、勉強もさせていただくことができました。

今限りでご勇退をされます先輩議員の皆様方には、県政に対する長年のご功績に改めて敬意を表しますとともに、この4年間、何かとご指導をいただきましたことに心から深く感謝を申し上げます。

今議会が終わりますと、ご勇退をされる方々、それぞれの地元で再び県民の皆様への負託をいただくために選挙に挑まれる方々、それぞれですが、想いはひとつ、ともに県勢の発展、そして県民の皆様が心豊かに住みよい暮らしができる県づくりを進めることだと思います。そのために、私ども自由民主党も責任政党として、引き続き皆様の期待と信頼に応えられるよう、さらに頑張りたいと思っております。

最後に、県議会とは車の両輪であります知事さんをはじめ執行部の皆様方に、この4年間の感謝を申し上げます、一般質問を終わります。ご清聴、誠にありがとうございました。